



寺子屋スタイルの授業風景。生徒たちは自由な雰囲気の中で学ぶ楽しさを知り、「自ら学ぶ」意識を高めている

徹底した基礎へのこだわりを胸に 患者のために最善を尽くす医師へ



東京医科歯科大学 医学部医学科 6年生
鎌形 美那さん
(桜蔭中学校・高等学校出身)

本物の英語力が身につく塾として、評判の高い平岡塾。男女御三家をはじめとして、名門校の生徒が数多く通い、東大や医学部に多くの塾生を送り出している。東京医科歯科大学医学部6年生の鎌形さんは、同塾に6年間通った後、講師として後輩の指導にも携わっている。「平岡は生活の一部」と語る鎌形さんに、その魅力を語ってもらった。

おらかで居心地のよい 寺子屋スタイルの教室

——平岡塾に通うようになったきっかけを教えてください。

鎌形 母親の勧めです。中学校におかれていたパンフレットだったと思いますが「力がつきそう、ここがいいんじゃない」と。それで中1に上がる3月から平岡塾に通い始めました。

——最初の印象は？

鎌形 中学受験のために通っていた塾は、机が並んで先生が前に立って、という一般的な形式でしたから、最初は戸惑いました。平岡塾は座卓で、生徒が向き合って座っていて、机の上に飲み物や軽食が置かれています。でも、「人に迷惑をかけない限り、何をやってもOK」というおらかさが居心地よく感じられました。4月になると同じ桜蔭の生徒にも出会い、通うのが楽しくなりました。

——授業の進め方を教えてください。

鎌形 最初はA、B、Cや「This is a pen.」といった基礎の基礎から。また授業のはじめにある、リチャード先生のリスニングやスピーキングも印象的でした。ジャズ音楽に合わせ、日常会話などをリズムに乗せて身体に覚え込ませるなど、教え方もユニークで、自

然に英語に親しむことができました。

——最初の頃の思い出は？

鎌形 中学では「お帰り問題」というシステムがあります。作文や暗記などの課題を出され、合格した人から帰れるのですが、私は暗記が苦手で、定時は夜8時にもかかわらず9時30分くらいまで残ったこともありました。今でも平岡時代の友だちと話をすると、「お帰り問題」の話題が出てきます。

徹底的な繰り返しで「型」を身につける

——平岡塾の特長は何だと思われますか。

鎌形 平岡の特長の一つに、『型』を徹底的にたたき込む』ことがあります。英語に慣れた後、4月の後半からは『ドン・キホーテ』を読み進めていくのですが、いわゆる和訳ではなく、文頭から1単語ずつ、文の構造を考えながら訳していくのです。おかげで、文が長く構造が複雑になっても、読解で困ることはなくなりました。

——宿題が多いことでも有名ですね。

鎌形 はい。毎回の授業で、読解、文法、英作文それぞれB4版1〜2枚の宿題プリントが配布されます。自分の力で問題を解き、

次の授業に臨むのですが、私の場合は毎日1時間程度、コツコツこなすようにしていました。授業では冒頭で、宿題の英文をすべて音読した上で、答え合わせをします。その際、正解を確認して終わりではなく、間違っていた場合は「何が間違っているのか」「どうしてその答えになったのか」を全員で検証します。それによって理解力が高まったと思います。

——使用している教材もユニークですね。

鎌形 イギリスのパブリックスクールの生徒が読んでいる古典的な名著が中心です。前述した『ドン・キホーテ』以降も『八十日間世界一周』やモーム、ラッセル、オーウェルなど古典的名著を中心に

に、良質の英語を暗誦・精読・多読することで英語力を徹底的に鍛えられました。

平岡の英語は、大学受験を意識した英語というよりも、一生涯役に立つ「教養としての英語」だと思っています。英文を読む中で、それぞれの考え方に触れたり、作品の描かれた背景に関する先生方のうんちくが聞けたりと、読み物としても楽しめました。

——大学受験対策は？

鎌形 中2の10月までに文法を一通り終わらせ、その後はプリントを利用して繰り返し基礎を身につけます。高3になると、受験を意識した内容になります。東大の過去問など、先生がさまざまな問題を用意してくれて、受験にも対応できるような授業が行われます。

私は、高校に入った頃は東京医科歯科大を志望校に考えていたのですが、長文読解を重視する出題に特徴がありました。そのため、今まで以上に長文読解に時間を割くとともに、平岡の先生の「医学単語を覚えておくように」とのアドバイスを受けて、空き時間などにチェックするようにしました。

——医学部で学ばれている中で、英語の必要性を感じることはありますか。

鎌形 実習で「英語の論文を読んでも、内容を5分程度でまとめて発表せよ」といった場面がよく出て

温かい人間関係とスキルアップを実感できる楽しさ

——大学入学後、講師として後輩の指導に関わられているそうですね。

鎌形 大学入学後、代表の大手先生から連絡をいただき、主に中1、2を担当しています。自分もそうでしたが、楽しく通ってくれるよう、メリハリをつけた授業を心がけています。入学してから12年、人生の半分は平岡に関わっていることになりましたね。

——平岡の魅力はどこにあるのでしょうか。

鎌形 「楽しかった」のひと言に尽きます。違う学校の仲間に会えることも楽しかったし、先生方も気さくで、何でも話せる雰囲気。高2、高3では、先生を交えてパーティーを開いたりもしましたし、大学に入ってから、当時の



平岡塾で使用している教材。ラッセル、オーウェルなど、古典的名著の名文が中心だ

クラスメイトとは連絡を取り合っています。

確かに宿題は大変でしたが、毎回新しいことを知ったり、英語の力がついたと実感したりできるのも楽しかったです。また、先生方とのやりとりを通して、英語をツールとして使いこなすことの楽しさも学べました。これから平岡で学ばれる方も、最後まで続けられれば必ず「行って良かった」と思えるはずです。

——最後に、医師としての目標を教えてください。

鎌形 私は小6のとき、ケガで入院したことをきっかけに医者という仕事に興味を持ちました。患者さんに向き合い、快復のお手伝いをしたい、その気持ちは今も変わりません。そのためには、知識・技術はもちろん人間としての成長も欠かせないと思っています。平岡をはじめ多くの人と出会うなかで考え、学んだことを糧にスキルアップし続けたいですね。